

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る  
事後調査報告書  
(平成23年7月分)

大 阪 市 港 湾 局  
大阪湾広域臨海環境整備センター

## 目 次

### 事後調査の概要

- |             |     |
|-------------|-----|
| 1 . 調査概要    | - 1 |
| 2 . 工事の実施状況 | - 7 |
| 3 . 調査結果の概要 | - 8 |

### 事後調査結果

- |         |     |
|---------|-----|
| 1 . 大気質 | - 1 |
| 2 . 水質  | - 9 |

## 事後調査の概要

## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 23 年 7 月の事後調査の概要は表 - 1 に、調査地点の位置は図 - 1 に示すとおりである。

### 埋立地周辺における調査

表 - 1 (1) 事後調査の概要 (平成 23 年 7 月)

#### (1) 大気質 (図 - 1(1)参照)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	7月1日～31日	通年連続

#### (2) 水質

##### 一般項目 (図 - 1(1)参照)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P)	5点×2層 [1, 2, 3, 4, 5] 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	7月6日	1回/月
その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

#### 埋立中の濁り等監視(廃棄物処分場周辺) (図 - 1(2)参照)

##### - 1 放流水、内水及び護岸外周(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
濁度 水温 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO)	放流水 1点	7月1日～31日	連続測定
浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS)	放流水 1点 内水 1点	7月5,12,22,26日	1回/週
水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 全窒素(T-N)	(処理原水)	7月5日	1回/月
全燐(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数			4回/年 (5月、8月、11月、2月)
透明度 水温 塩分 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) [19, 20, 21] 上層:海面下1m 下層:海底面上2m  n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査		4回/年 (5月、8月、11月、2月)

表 - 1 (2) 事後調査の概要 (平成 23 年 7 月)

- 1 放流水、内水及び護岸外周(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
健康項目等 カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機燐 ほう素 ふっ素 アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物)	放流水 1点 内水 1点 (処理原水) 護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) [19, 20, 21] 上層:海面下1m 下層:海底面上2m		4回/年 (5月、8月、11月、2月)
1,4-ジオキサン	1,4-ジオキサンは護岸外周のみ調査		
ダイオキシン類	ダイオキシン類は上層のみ調査		放流水 4回/年 (5月、8月、11月、2月) 内水 2回/年 (8月、2月) 護岸外周 1回/年 (8月)

表 - 1 (3) 事後調査の概要 (平成 23 年 7 月)

- 2 処分場周辺

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P) クロロフィルa n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	6点(護岸から500m)×2層 [13, 14, 15, 16, 17, 18] 上層:海面下1m 下層:海底面上2m  n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査		4回/年 (5月、8月、11月、2月)
カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機燐 1,4-ジオキサン			2回/年 (8月、2月)

表 - 1 (4) 事後調査の概要 (平成 23 年 7 月)

(3)底質

一般項目

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全燐(T-P) 酸化還元電位	4点(表層土) [2, 3, 4, 5]		2回/年 (8月、2月)

廃棄物等埋立中の監視(廃棄物処分場周辺)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
一般項目 粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全燐(T-P) 酸化還元電位	1点(表層土) [15]		2回/年 (8月、2月)
有害項目 < 含有量試験 > アルキル水銀 総水銀 カドミウム 鉛 有機燐 六価クロム 砒素 シアン PCB 銅 亜鉛 ふっ化物 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ベリリウム クロム ニッケル バナジウム 有機塩素化合物 ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン			

表 - 1 (5) 事後調査の概要 (平成 23 年 7 月)

(4) 騒音・低周波空気振動

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル	1点(大阪南港野鳥園)		2回/年 (4月、10月)
低周波空気振動音圧レベル			

(5) 悪臭

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度 臭気指数 特定悪臭物質濃度	1点(大阪南港野鳥園)		2回/年 (8月、9月)

(6) 陸域生態系(鳥類)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
鳥類の生息状況	4点 [a、b、c、d]		4回/年 (5月、6月、8月、2月) (2年おきに実施)

廃棄物搬入施設周辺における調査

廃棄物搬入施設

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
大気質 二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 [ 2, 3] 堺基地 : 2点 [ 1, 2] 泉大津基地 : 2点 [ A, B]		1週間×4回/年 (5月、8月、11月、2月)
騒音 道路交通騒音レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 [ 2, 3] 堺基地 : 2点 [ 1, 2] 泉大津基地 : 2点 [ A, B]		2回/年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
振動 道路交通振動レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 [ 2, 3] 堺基地 : 2点 [ 1, 2] 泉大津基地 : 2点 [ A, B]		2回/年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
交通量 廃棄物輸送車 一般車	搬入ルート沿道 大阪基地 : 3点 [ 1, 2, 4] 堺基地 : 4点 [ 1, 2, 3, 4] 泉大津基地 : 3点 [ A, B, C]		4回/年 (操業時間帯に実施) (5月、8月、11月、2月)
悪臭 臭気強度 臭気指数	敷地境界 大阪基地 : 2点(風上、風下) [ 5, 6] 堺基地 : 2点(風上、風下) [ 5, 6] 泉大津基地 : 2点(風上、風下) [ D1, D2]		2回/年 (6月、8月)



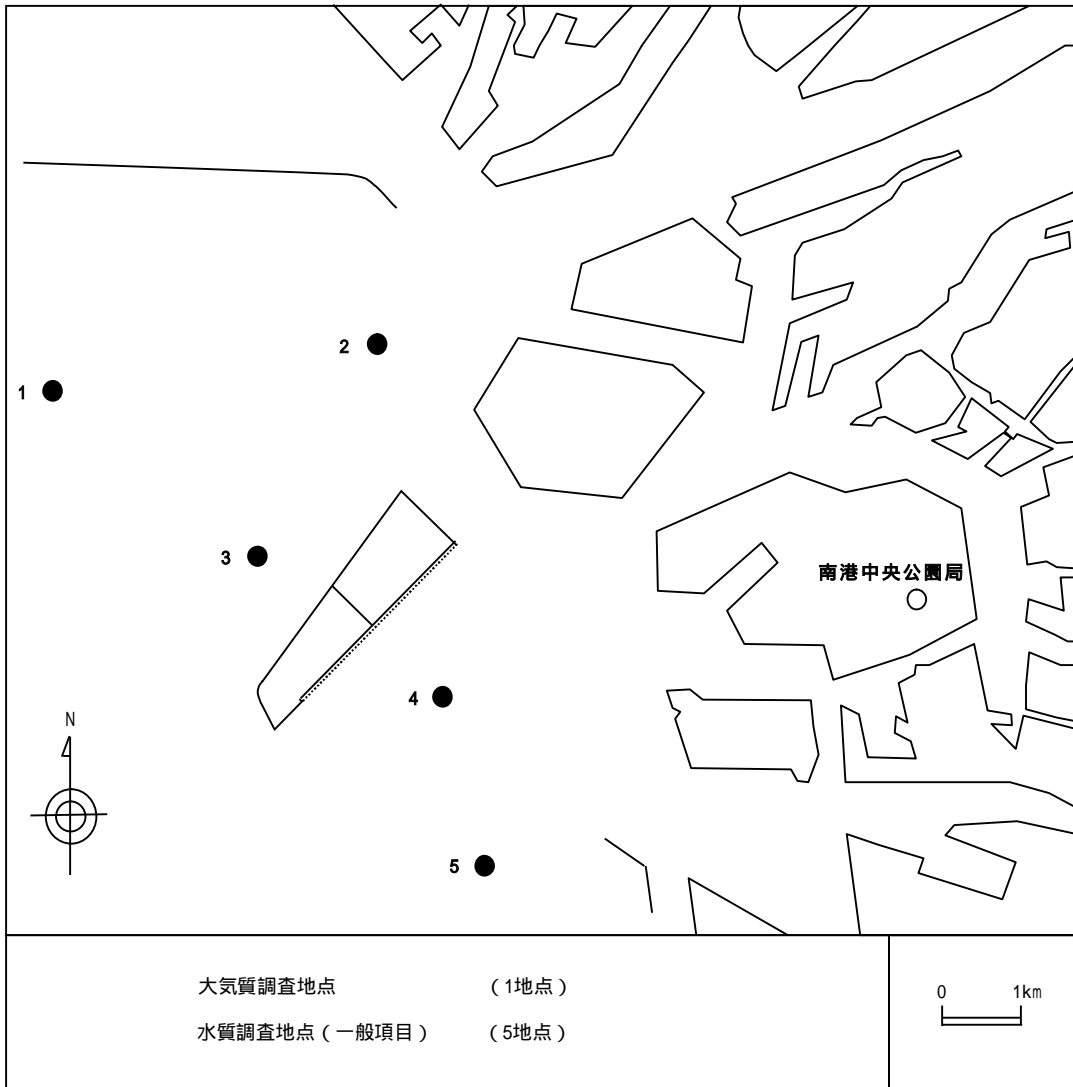


図 - 1(1) 大気質、水質(一般項目)の調査地点 (平成 23 年 7 月)

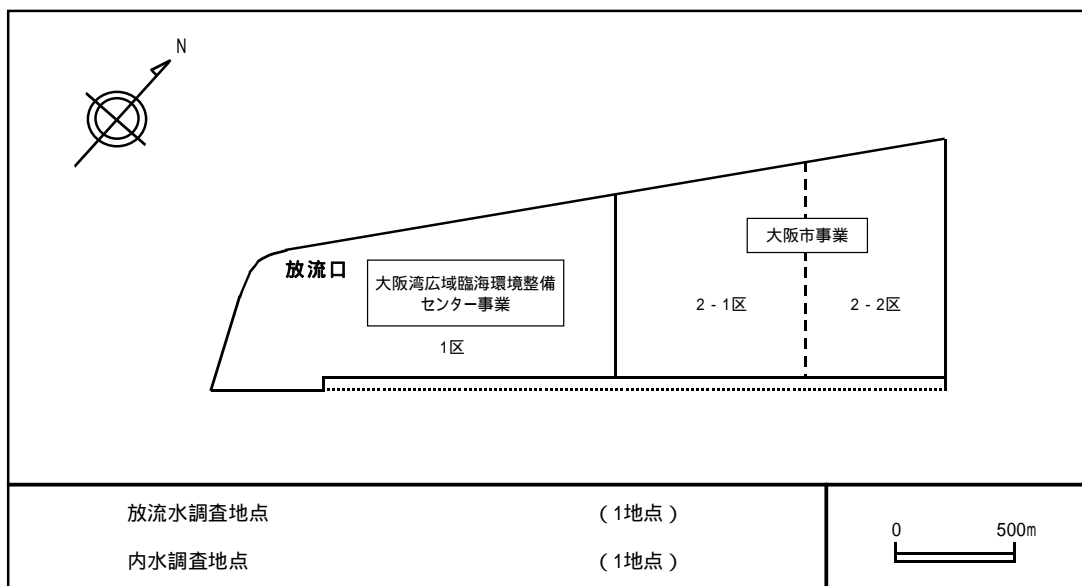
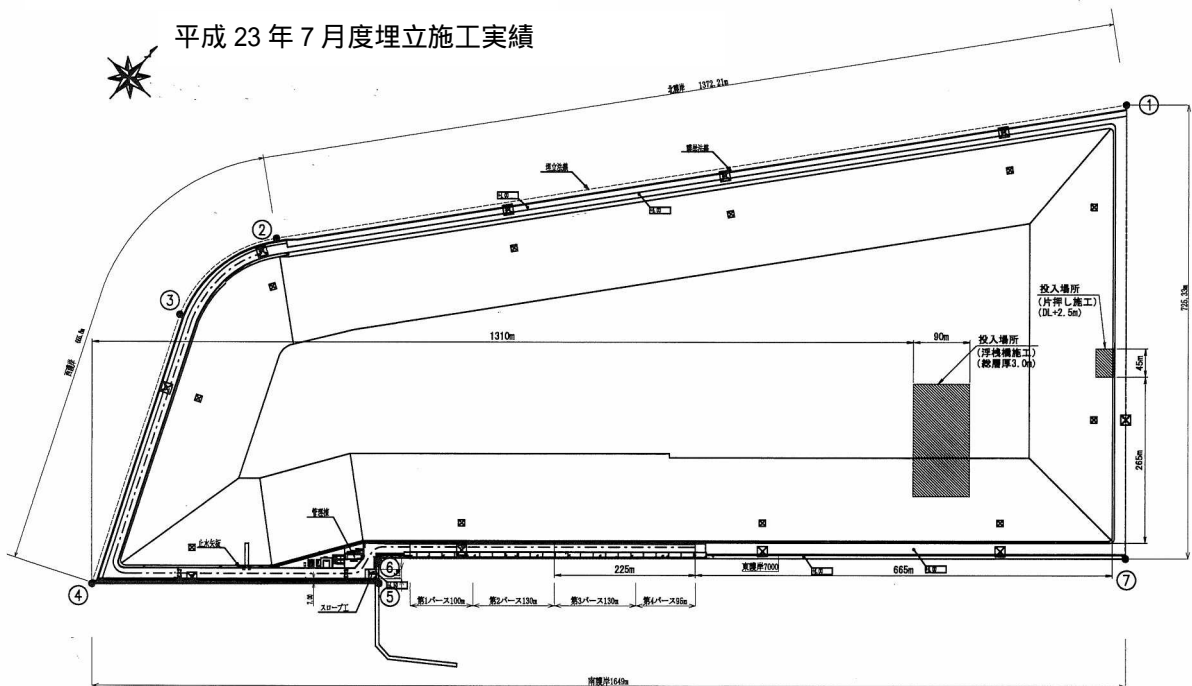


図 - 1(2) 水質(埋立中:放流水、内水)の調査地点 (平成 23 年 7 月)

## 2. 工事の実施状況

平成 23 年 7 月の工事の実施状況は、図 - 2 に示すとおりである。

大阪沖埋立処分場平面図



埋立量 (m <sup>3</sup> )	進捗率 (%)
1,173,153	8.4

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図 - 2 工事の実施状況 (平成 23 年 7 月)

### 3 . 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### ( 1 ) 大気質 [ 大気質様式第 1 号 ~ 8 号 ]

- 1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1 時間値：0.1ppm 以下】  
二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.005ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.008ppm、1 時間値の最高値は 0.018ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04 ~ 0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】  
二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.018ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.027ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1 時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】  
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.030mg/m<sup>3</sup> であった。また、日平均値の最高値は 0.038mg/m<sup>3</sup>、1 時間値の最高値は 0.079mg/m<sup>3</sup> であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### ( 2 ) 水質

###### 一般項目 [ 水質様式第 1 号 ]

###### 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.2 ~ 8.5、下層で 7.8 ~ 7.9 の範囲にあり、上層では調査地点 1、2、4 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (8.5)、調査地点 2 (8.4)、調査地点 4 (8.4) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は、上層で 7.7 ~ 8.6 であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

###### 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg /L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 3.6 ~ 5.4mg /L、下層で 1.7 ~ 2.1mg /L の範囲にあり、上層では全ての調査地点で環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (5.4mg/L)、調査地点 2 (4.9mg/L)、調査地点 3 (3.6mg/L)、調査地点 4 (5.1mg/L)、調査地点 5 (4.7mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は、上層で 1.6 ~ 4.9

mg/L であり、概ね同程度の値であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg /L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 9.0～10 mg/L、下層で 3.1～5.0mg/L の範囲にあり、上層は全ての調査地点で環境基準値を満たしていたが、下層では調査地点 1、3、4、5 において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層における調査地点 1 (3.1mg/L)、調査地点 3 (4.6mg/L)、調査地点 4 (3.3mg/L)、調査地点 5 (4.8mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は、下層で 0.6～11mg/L であり、いずれもこの範囲であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg /L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.90～1.2mg/L、下層で 0.33～0.44mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点で環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (1.0mg/L)、調査地点 2 (1.0mg/L)、調査地点 3 (0.90mg/L)、調査地点 4 (1.2mg/L)、調査地点 5 (1.1mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は、0.46～2.1mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.068～0.11mg/L、下層で 0.048～0.078mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点で環境基準値を上回っており、下層では調査地点 1、4、5 において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.091mg/L)、調査地点 2 (0.092mg/L)、調査地点 3 (0.068mg/L)、調査地点 4 (0.082mg/L)、調査地点 5 (0.11mg/L)、下層における調査地点 1 (0.078mg/L)、調査地点 4 (0.069mg/L)、調査地点 5 (0.053mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は、上層で 0.021～0.15mg/L、下層で 0.020～0.25mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 5～8 度(カリ)、下層で 1～2 度(カリ)の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 3～6mg/L、下層で 2～3mg/L の範囲であった。

## 8) 知ロフィル a

知ロフィル a は上層で 2 ~ 15 µg/L の範囲であった。下層では全ての調査地点において報告下限値未満 (<1) であった。

### - 1 放流水、内水及び護岸外周 [ 水質様式第 6 ~ 9 号 ]

#### 1) 放流水 ( 連続測定 )

濁度は、0.0 ~ 0.4 度(カリ) ( 平均値 0.2 度(カリ) ) の範囲であった。

水温は、25.9 ~ 29.4 ( 平均値 27.3 ) の範囲であった。

pH は、7.3 ~ 8.2 の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値 ( 5.0 以上 9.0 以下 ) の範囲内であった。

COD は、6.0 ~ 6.5mg/L ( 平均値 6.2mg/L ) の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値 ( 90mg/L ) 及び管理目標値 ( 40mg/L ) を下回っていた。

DO は、 1 接触酸化槽において 6.7 ~ 9.3mg/L ( 平均値 8.1mg/L )、 2 接触酸化槽において 8.3 ~ 10.0mg/L ( 平均値 9.4mg/L ) であった。

注 : 1 . 水温は、分配槽の温度を測定。

2 . DO については、測定計設置調整中のため、参考値として接触酸化槽での測定値を掲載。

#### 2) 放流水、内水

##### ・放流水

SS は、報告下限値未満 (<1) ~ 1.5mg/L ( 平均値 1.2mg/L ) の範囲にあり、全測定を通じて放流水の基準値 ( 60mg/L ) 及び管理目標値 ( 50mg/L ) を下回っていた。

FSS は、全ての測定において報告下限値未満 (<1mg/L) であった。

pH は、8.2 であり、放流水の基準値及び管理目標値 ( 5.0 以上 9.0 以下 ) の範囲内であった。

COD は、8.1mg/L であり、放流水の基準値 ( 90mg/L ) 及び管理目標値 ( 40mg/L ) を下回っていた。

T-N は、1.6mg/L であり、放流水の基準値 ( 120mg/L、日間平均 60mg/L ) 及び管理目標値 ( 30mg/L ) を下回っていた。

##### ・内水

SS は、1.2 ~ 3.4mg/L ( 平均値 2.1mg/L ) の範囲であった。

FSS は、報告下限値未満 (<1mg/L) ~ 1.1mg/L ( 平均値 1.0mg/L ) の範囲であった。

pH は 8.8、COD は 10mg/L、T-N は 1.5mg/L であった。

#### 3) 護岸外周

7 月は実施せず。

- 2 処分場周辺

7月は実施せず。

(3) 底質

7月は実施せず。

(4) 騒音・低周波空気振動

7月は実施せず。

(5) 悪臭

7月は実施せず。

(6) 陸域生態系(鳥類)

7月は実施せず。

廃棄物搬入施設周辺における調査

7月は実施せず。

《 参 考 》 環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項 目	基 準 値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

(2) 水質

水質（海域）

類型	項 目	基 準 値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出されないこと
	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全燐 (T-P)	0.05mg/L 以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、  
全窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準(BOD又はCOD)の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域累計を指定する際の水質測定結果の評価方法について

環境基準の水域累計をあてはめるための水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の  
全データのうち、あてはめようとする類計の基準値を満たしているデータ数の占める割合をも  
って評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。  
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水  
質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さい者から順に並べ0.75×n番目  
(nは日間平均値のデータ数)のデータ値をもって75%水質値とする。(0.75×nが整数で  
ない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。)

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)  
と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している  
基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点をもつ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断  
方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準  
に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

## 2. 規制基準等

### (1) 水質

水質（放流水・一般項目）

処分場	項目	基準値	管理目標値
管理型最終処分場	水素イオン濃度 (pH)	5.0 以上 9.0 以下	同左
	化学的酸素要求量 (COD)	90mg/L 以下	40mg/L 以下
	浮遊物質量 (SS)	60mg/L 以下	50mg/L 以下
	窒素含有量 (T-N)	120mg/L (日間平均60mg/L ) 以下	30mg/L 以下
	磷含有量 (T-P)	16mg/L (日間平均 8mg/L ) 以下	4mg/L 以下
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (n-ヘキサン抽出物質)	鉱油類含有量 : 5mg/L以下 動植物油脂類含有量 : 30mg/L以下	同左
	大腸菌群数	日間平均 3000個/cm <sup>3</sup> 以下	同左

- 注) 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第一より抜粋。  
 2. 管理目標値は、事後調査計画書における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。



## 事後調查結果

大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表〔平成23年7月分〕

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	742
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	741
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	9
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	236
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第2号（埋立地関連）

二酸化硫黄測定結果[平成23年7月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (金)	0.008	0.013
	2 (土)	0.006	0.009
	3 (日)	0.007	0.013
	4 (月)	0.004	0.008
	5 (火)	0.006	0.012
	6 (水)	0.005	0.011
	7 (木)	0.003	0.006
	8 (金)	0.006	0.008
	9 (土)	0.006	0.011
	10 (日)	0.005	0.008
別	11 (月)	0.004	0.008
	12 (火)	0.004	0.007
	13 (水)	0.006	0.012
	14 (木)	0.006	0.010
	15 (金)	0.008	0.018
	16 (土)	0.007	0.011
	17 (日)	0.005	0.009
	18 (月)	0.002	0.003
	19 (火)	0.002	0.002
	20 (水)	0.003	0.007
値	21 (木)	0.006	0.010
	22 (金)	0.006	0.013
	23 (土)	0.007	0.013
	24 (日)	0.005	0.010
	25 (月)	0.005	0.009
	26 (火)	0.005	0.008
	27 (水)	0.005	0.009
	28 (木)	0.004	0.007
	29 (金)	0.007	0.012
	30 (土)	0.006	0.012
	31 (日)	0.005	0.009
有効測定日数（日）		31	
測定時間（時間）		742	
月平均値（ppm）		0.005	
日平均値の最高値（ppm）		0.008	
1時間値の最高値（ppm）		0.018	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号（埋立地関連）

一酸化窒素測定結果[平成23年7月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (金)	0.009	0.026
	2 (土)	0.005	0.022
	3 (日)	0.001	0.006
	4 (月)	0.005	0.025
	5 (火)	0.002	0.014
別	6 (水)	0.004	0.021
	7 (木)	0.015	0.035
	8 (金)	0.020	0.038
	9 (土)	0.010	0.025
	10 (日)	0.004	0.013
	11 (月)	0.008	0.024
	12 (火)	0.018	0.049
	13 (水)	0.015	0.043
	14 (木)	0.009	0.018
	15 (金)	0.008	0.025
値	16 (土)	0.005	0.017
	17 (日)	0.001	0.005
	18 (月)	0.006	0.022
	19 (火)	0.007	0.023
	20 (水)	0.005	0.013
	21 (木)	0.012	0.045
	22 (金)	0.008	0.043
	23 (土)	0.002	0.010
	24 (日)	0.001	0.006
	25 (月)	0.006	0.020
	26 (火)	0.008	0.025
	27 (水)	0.010	0.023
	28 (木)	0.007	0.028
	29 (金)	0.007	0.027
	30 (土)	0.007	0.018
	31 (日)	0.001	0.002
有効測定日数（日）		31	
測定時間（時間）		741	
月平均値（ppm）		0.007	
日平均値の最高値（ppm）		0.020	
1時間値の最高値（ppm）		0.049	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第4号（埋立地関連）

二酸化窒素測定結果[平成23年7月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日	1 (金)	0.022	0.032	
	2 (土)	0.018	0.023	
	3 (日)	0.018	0.031	
	4 (月)	0.016	0.037	
	5 (火)	0.021	0.035	
	6 (水)	0.027	0.050	
	7 (木)	0.016	0.023	
	8 (金)	0.016	0.022	
	9 (土)	0.014	0.018	
	10 (日)	0.012	0.019	
	11 (月)	0.016	0.033	
	12 (火)	0.017	0.034	
	13 (水)	0.017	0.025	
	14 (木)	0.016	0.026	
	15 (金)	0.025	0.061	
別	16 (土)	0.021	0.035	
	17 (日)	0.013	0.029	
	18 (月)	0.009	0.014	
	19 (火)	0.012	0.021	
	20 (水)	0.016	0.031	
	21 (木)	0.024	0.054	
	22 (金)	0.021	0.039	
	23 (土)	0.017	0.028	
	24 (日)	0.015	0.024	
	25 (月)	0.023	0.037	
	値	26 (火)	0.022	0.036
		27 (水)	0.013	0.017
		28 (木)	0.017	0.036
		29 (金)	0.026	0.047
		30 (土)	0.021	0.038
		31 (日)	0.014	0.030
有効測定日数（日）		31		
測定時間（時間）		741		
月平均値（ppm）		0.018		
日平均値の最高値（ppm）		0.027		
1時間値の最高値（ppm）		0.061		
1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）		0		
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）		0		
日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）		0		
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）		0		

- 注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。  
 その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物(NO+NO<sub>2</sub>)測定結果[平成23年7月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)	
日	1 (金)	0.031	71.0	0.051
	2 (土)	0.023	78.3	0.045
	3 (日)	0.019	94.7	0.037
	4 (月)	0.021	76.2	0.047
	5 (火)	0.023	91.3	0.040
	6 (水)	0.032	84.4	0.065
	7 (木)	0.030	53.3	0.056
	8 (金)	0.036	44.4	0.053
	9 (土)	0.023	60.9	0.042
	10 (日)	0.017	70.6	0.026
別	11 (月)	0.024	66.7	0.055
	12 (火)	0.036	47.2	0.069
	13 (水)	0.032	53.1	0.063
	14 (木)	0.025	64.0	0.036
	15 (金)	0.032	78.1	0.081
	16 (土)	0.025	84.0	0.045
	17 (日)	0.014	92.9	0.029
	18 (月)	0.015	60.0	0.035
	19 (火)	0.019	63.2	0.044
	20 (水)	0.021	76.2	0.043
値	21 (木)	0.036	66.7	0.085
	22 (金)	0.029	72.4	0.077
	23 (土)	0.019	89.5	0.038
	24 (日)	0.016	93.8	0.028
	25 (月)	0.029	79.3	0.056
	26 (火)	0.030	73.3	0.053
	27 (水)	0.024	54.2	0.040
	28 (木)	0.024	70.8	0.041
	29 (金)	0.033	78.8	0.056
	30 (土)	0.028	75.0	0.051
	31 (日)	0.014	100.0	0.032
有効測定日数(日)		31		
測定時間(時間)		741		
月平均値(ppm)		0.025		
日平均値の最高値(ppm)		0.036		
1時間値の最高値(ppm)		0.085		
月平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		73.0		

注:1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub> / (NO+NO<sub>2</sub>)の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値 NO<sub>2</sub> / (NO+NO<sub>2</sub>)

$$= \frac{\text{(NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和)}}{\text{(NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO+NO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和)}}$$

3. 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

大気質様式第6号（埋立地関連）

浮遊粒子状物質測定結果[平成23年7月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の 最高値 (mg/m <sup>3</sup> )	
日	1 (金)	**	**	
	2 (土)	**	**	
	3 (日)	**	**	
	4 (月)	**	**	
	5 (火)	(0.042)	0.079	
	6 (水)	(0.036)	0.054	
	7 (木)	**	**	
	8 (金)	**	**	
	9 (土)	**	**	
	10 (日)	**	**	
	11 (月)	**	**	
	12 (火)	**	**	
	13 (水)	**	**	
	14 (木)	**	**	
	15 (金)	**	**	
別	16 (土)	**	**	
	17 (日)	**	**	
	18 (月)	**	**	
	19 (火)	**	**	
	20 (水)	**	**	
	21 (木)	**	**	
	22 (金)	(0.031)	0.037	
	23 (土)	0.038	0.049	
	24 (日)	0.031	0.049	
	25 (月)	0.031	0.040	
	値	26 (火)	0.024	0.040
		27 (水)	0.020	0.031
		28 (木)	0.029	0.055
		29 (金)	0.035	0.051
		30 (土)	0.032	0.050
		31 (日)	0.034	0.048
有効測定日数 (日)		9		
測定時間 (時間)		236		
月平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.030		
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.038		
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.079		
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0		
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0		

- 注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。  
 3. \*\*：機械の故障・修理または調整による欠測を示す。

気象観測結果（風向・風速）[平成23年7月分]

測定局		南港中央公園				
項目		風速			最多風向 16方位	
		平均風速 (m/s)	最大風速			
			風速 (m/s)	風向 16方位		
日	1 (金)	0.9	1.9	SW	WSW	
	2 (土)	1.3	2.9	WSW	WSW	
	3 (日)	1.1	2.3	WNW	WNW	
	4 (月)	1.7	3.3	WSW	WNW	
	5 (火)	1.4	3.0	WSW	WSW	
	別	6 (水)	1.0	1.9	SSW	SW
		7 (木)	1.3	3.1	SSW	SSW
		8 (金)	1.2	2.2	WNW	NW
		9 (土)	1.3	3.4	WNW	WNW
		10 (日)	1.3	2.3	SW, WNW	WNW
		11 (月)	1.2	2.5	W	WNW
		12 (火)	0.9	1.8	SW	WNW
		13 (水)	1.2	3.3	WSW	WNW
		14 (木)	1.2	2.5	WSW	W, WNW
		15 (金)	1.0	2.0	SW	WNW
値	16 (土)	1.4	3.4	WSW	WNW	
	17 (日)	1.1	2.3	SE	ENE, WNW	
	18 (月)	2.1	3.5	NE	NE	
	19 (火)	2.5	3.6	NE	NE	
	20 (水)	2.1	3.0	NE	NE	
	21 (木)	1.0	1.9	NNW	NNW	
	22 (金)	1.1	2.9	WSW	W	
	23 (土)	1.1	2.6	WSW	WSW	
	24 (日)	1.2	2.5	WSW	WSW	
	25 (月)	1.1	2.6	W	WNW	
	26 (火)	1.2	2.1	W	W	
	27 (水)	1.4	2.4	W	WSW	
	28 (木)	1.2	2.7	SW	WSW	
	29 (金)	1.2	3.2	WSW	WSW	
	30 (土)	1.3	2.4	SW	SW	
	31 (日)	1.0	2.0	WSW	W, N	
測定時間（時間）		744				
月平均風速（m/s）		1.3				
月最大風速（m/s）		3.6				
月最多風向（16方位）		WNW				

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。



風向別出現頻度及び風向別平均風速[平成23年7月分]

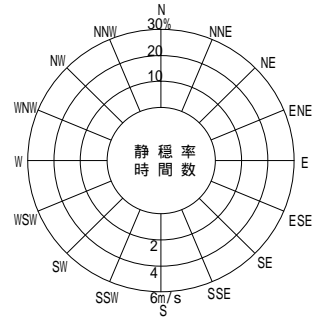
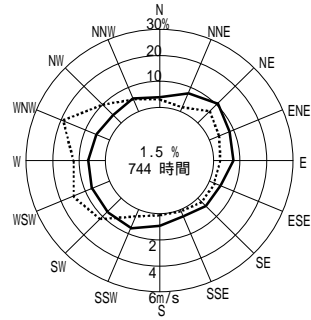
方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	14	42	28	17	14	9	4	3	24	83	115	99	145	74	35	27	11	744
頻度(%)	1.9	5.7	3.8	2.3	1.9	1.2	0.5	0.4	3.2	11.2	15.5	13.3	19.5	10.0	4.7	3.6	1.5	-
平均風速(m/s)	1.4	2.1	1.7	1.6	0.9	0.8	0.5	0.9	1.5	1.5	1.5	1.3	1.2	0.8	1.0	0.8	0.2	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局:南港中央公園局

風向風速計高さ:14.2m

凡例



—— 平均風速  
- - - - 出現頻度

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図[平成23年7月分]

水質調査結果（一般項目）

[平成23年7月分]

調査日：平成23年7月6日

項目	調査点					最小値 ~ 最大値	平均値	
	1	2	3	4	5			
時刻	8:40	8:20	9:00	9:45	9:30	-	-	
透明度 [ m ]	1.5	1.9	2.5	1.8	2.6	1.5 ~ 2.6	2.1	
水温 [ ]	27.7	27.6	27.1	27.5	27.6	27.1 ~ 27.7	27.5	
	21.7	23.3	22.6	21.8	22.7	21.7 ~ 23.3	22.4	
塩分 [ - ]	16.5	13.9	21.1	18.4	17.2	13.9 ~ 21.1	17.4	
	31.0	30.5	30.9	31.7	31.4	30.5 ~ 31.7	31.1	
濁度 [ 度(カサ) ]	8	7	6	8	5	5 ~ 8	7	
	2	1	1	1	1	1 ~ 2	1	
浮遊物質量 (SS) [ mg/L ]	6	4	3	4	4	3 ~ 6	4	
	2	2	2	2	3	2 ~ 3	2	
水素イオン濃度 (pH) [ - ]	8.5	8.4	8.3	8.4	8.2	8.2 ~ 8.5	-	
	7.8	7.9	7.9	7.8	7.8	7.8 ~ 7.9	-	
化学的酸素要求量 (COD) [ mg/L ]	5.4	4.9	3.6	5.1	4.7	3.6 ~ 5.4	4.7	
	1.9	2.1	1.8	1.7	1.9	1.7 ~ 2.1	1.9	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [ mg/L ]	10	9.2	9.0	10	9.7	9.0 ~ 10	9.6
		3.1	5.0	4.6	3.3	4.8	3.1 ~ 5.0	4.2
	飽和度 [ % ]	140	126	128	141	136	126 ~ 141	134
		42	70	64	45	67	42 ~ 70	58
全窒素 (T-N) [ mg/L ]	1.0	1.0	0.90	1.2	1.1	0.90 ~ 1.2	1.0	
	0.44	0.33	0.34	0.40	0.36	0.33 ~ 0.44	0.37	
全燐 (T-P) [ mg/L ]	0.091	0.092	0.068	0.082	0.11	0.068 ~ 0.11	0.089	
	0.078	0.048	0.050	0.069	0.053	0.048 ~ 0.078	0.060	
クロロフィルa (chl.a) [ µg/L ]	12	11	3	15	2	2 ~ 15	9	
	<1	<1	<1	<1	<1	<1 ~ <1	<1	

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------

水質様式第 6 号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視 廃棄物処分場放流水（連続測定：総括））

[平成 23 年 7 月分]

項目	区分	放流水		
		最小値	～ 最大值	平均値
濁度	[度(カオリ)]	0.0	～ 0.4	0.2
水温	[ ]	25.9	～ 29.4	27.3
pH	[ - ]	7.3	～ 8.2	8.0
COD	[mg/L]	6.0	～ 6.5	6.2
DO (No.1)	[mg/L]	6.7	～ 9.3	8.1
DO (No.2)	[mg/L]	8.3	～ 10.0	9.4
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水温は、分配槽の温度を測定</li> <li>・DOについては、測定計設置調整中のため、参考値として接触酸化槽での測定値を掲載</li> </ul>			

（定期測定）

調査日	時刻	放流水	
		水温	DO
		[ ]	[ mg/L ]
7/5 (火)	13:55	30.8	3.44
7/12 (火)	10:30	29.2	3.28
7/22 (金)	10:30	28.3	3.60
7/26 (火)	10:00	29.9	3.60
特記事項	7/19天候悪化（台風接近）により7/22に調査日変更		

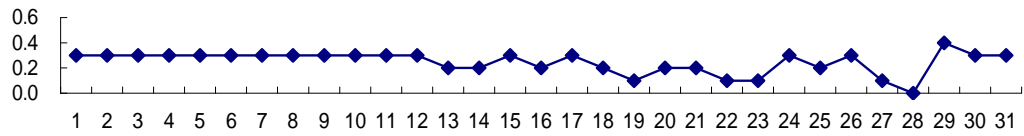
定期測定：水温とDO（連続測定）は参考値のため、平成 22 年 11 月から週 1 回、放流水の簡易測定を行っており、その結果を示している。

水質様式第7号

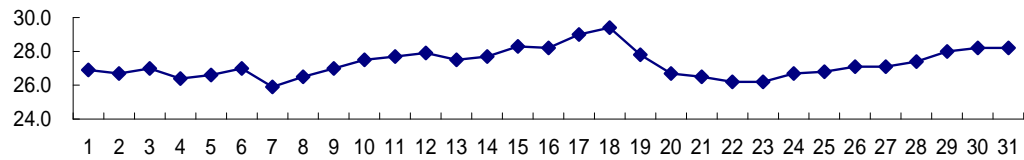
水質調査結果（埋立中の濁り等監視 廃棄物処分場放流水（連続測定））

[平成23年7月分]

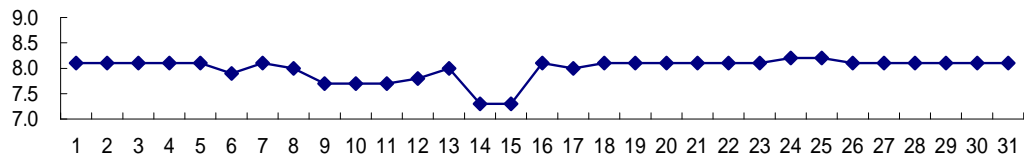
濁度[度(カサ)]



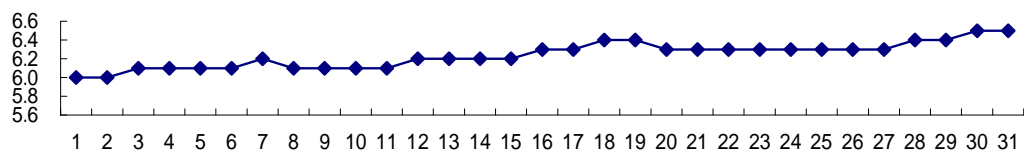
水温[ ]



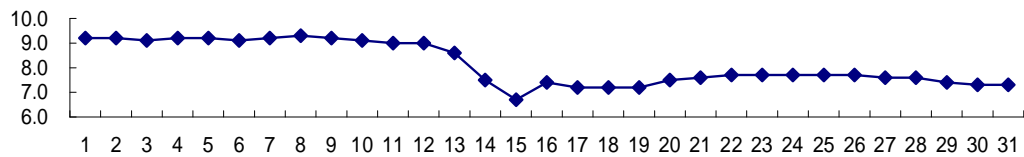
水素イオン濃度(pH) [ - ]



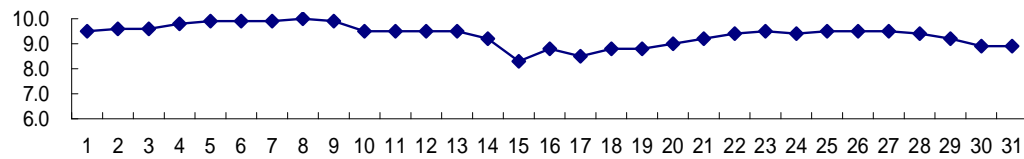
化学的酸素要求量(COD) [mg/L]



溶存酸素量(DO) [mg/L] No.1 接触酸化槽



溶存酸素量(DO) [mg/L] No.2 接触酸化槽



(月/日)

【特記事項】

7月28日 [濁度]フィルターを交換。以降正常。

水質様式第 8 号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視 廃棄物処分場放流水、内水 ） [ 平成23年7月分 ]

区分 項目 調査日	放流水			内水		
	時刻	S S [mg/L]	F S S [mg/L]	時刻	S S [mg/L]	F S S [mg/L]
	7/5 (火)	13:55	1.3	< 1	13:35	3.4
7/12 (火)	10:30	< 1	< 1	10:50	2.5	1.0
7/22 (金)	10:30	< 1	< 1	10:45	1.2	< 1
7/26 (火)	10:00	1.5	< 1	9:50	1.2	< 1
平均値		1.2	< 1		2.1	1.0
最小値		< 1	< 1		1.2	< 1
最大値		1.5	< 1		3.4	1.1

特記事項  
7/19天候悪化（台風接近）により7/22に調査日変更

水質様式第 9 号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視 廃棄物処分場放流水、内水 ） [ 平成23年7月分 ]

調査日：平成23年7月5日

区分 項目	放流水	内水
時刻	13:55	13:35
pH[ - ]	8.2(24 )	8.8(24 )
COD[mg/L]	8.1	10
T-N[mg/L]	1.6	1.5

特記事項